

会議録

会議の名称	令和7年度第2回西東京市地域自立支援協議会
開催日時	令和8年2月10日（火曜日）午後6時30分から8時30分まで
開催場所	田無庁舎5階 502・503会議室
出席者	<p>天宮真依子委員、篠原正樹委員、平雅夫委員、高宮裕子委員、田中めゆ委員、根本尚之委員、野口紳一郎委員、緑野健司委員、山田幸樹委員、綿祐二委員（50音順）</p> <p>（オブザーバー）基幹相談支援センターえぼっく、西東京市障害者総合支援センター</p> <p>（欠席者）高橋加寿子委員、佐藤千晴委員、佐藤美穂委員、原綾子委員、麓良久委員、</p>
議題	<p>1 移動に関する支援の見直しの方向性（案）について</p> <p>2 計画策定部会からの実施報告</p> <p>3 その他</p>
会議資料の名称	<p>資料1 移動に関する支援の見直しの方向性（案）について</p> <p>資料2 西東京市地域自立支援協議会計画策定部会実施報告</p> <p>資料3 令和8年度西東京市地域自立支援協議会計画策定部会スケジュール（案）</p> <p>参考資料1 西東京市の障害者福祉に関する調査（アンケート調査）実施報告書</p> <p>参考資料2-1 西東京市障害に関するアンケート調査（身体障害者手帳所持者）単純集計表</p> <p>参考資料2-2 西東京市障害に関するアンケート調査（愛の手帳（療育手帳）所持者）単純集計表</p> <p>参考資料2-3 西東京市障害に関するアンケート調査（精神障害者保健福祉手帳所持者）単純集計表</p> <p>参考資料2-4 西東京市障害に関するアンケート調査（自立支援医療（精神通院）を受けている方）単純集計表</p> <p>参考資料2-5 西東京市障害に関するアンケート調査（難病医療費等助成対象疾病を患っている方）単純集計表</p> <p>参考資料2-6 西東京市障害に関するアンケート調査（発達障害と診断されたことがある方）単純集計表</p> <p>参考資料2-7 西東京市障害に関するアンケート調査（障害者手帳を持っている、自立支援医療（精神通院）を受けている、難病医療費等の助成対象となっている児童の保護者）単純集計表</p> <p>参考資料2-8 西東京市障害に関するアンケート調査（障害の有無にかかわらず特別支援教育を受けている児童の保護者）単純集計表</p> <p>参考資料2-9 西東京市障害に関するアンケート調査（西東京市から支援決定を受けた方が入所している障害者施設）単純集計表</p> <p>参考資料3 第8期西東京市障害福祉計画・第4期西東京市障害児福祉計画策定のためのヒアリング調査報告書</p> <p>参考資料4 令和7年度地域自立支援協議会交流会 参加報告書</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

傍聴なし

議題1 移動に関する支援の見直しの方向性（案）について
事務局より資料1に沿って説明。

○委員

心身障害者自動車燃料費助成事業・心身障害者タクシー料金助成事業について、対象者要件の見直しの方向性としては、対象者を狭めるのか、それとも広げるのか。また、支給額については、増やすのか減らすのか、教えてもらいたい。

ハンディキャブ運行事業について、対象者要件の見直しの方向性としては、対象者を狭めるのか広げるのか、要件を変えるということであればどのように変えるのか、まだ決まっていないと思うが、方向性を教えてもらいたい。また、その他の付添人については、原則としては1人だが、場合によっては2人などを認めることを検討するという理解でよいか。目的地については、今は複数の目的地に行くことはできないが、それを認めるということによいか。

○事務局

心身障害者自動車燃料費助成事業・心身障害者タクシー料金助成事業の対象者要件については、現状は手帳の等級のみを要件としているが、肢体不自由の何級から何級、視覚障害の何級から何級といった、障害種別ごとの移動の困難さに応じた等級設定の検討などを想定している。また、JRにおいて精神障害のある方の割引が導入されたことなどを踏まえて、精神障害のある方を対象とするかどうかについても検討をしたいと考えている。支給額については、他の要件が固まった段階で、事業の継続性を考慮しながら検討したいと考えている。

ハンディキャブ運行事業の対象者要件については、現在は手帳の所持や等級要件を設けていないが、より移動が困難で本事業の利用が必要な方の利用につながるように、手帳の所持及び等級要件の導入を検討するとともに、併せてこれまで対象としていなかった知的又は精神障害により公共交通機関の利用が難しい方を新たに対象とすることなども一体的に検討していきたいと考えている。付添人については、委員ご質問のとおりで、事業の目的に反しない範囲で、付添人の人数について見直しを図りたいと考えている。目的地については、現状では、出発地点から目的地に行き、そこから出発地点に帰る又は別の降車指定場所に行くことは可能だが、一つ目の目的地の後に別の目的地に行き、そこから出発地点に帰る又は別の降車指定場所に行くことができない。このことについて、利用回数のカウントの方法を工夫するなど、他の利用者の予約が取りづらくなならない方法で見直しを行うことを考えている。

○委員

ハンディキャブ運行事業の対象者要件については、精神障害者を新たに対象としつつ、手帳の要件を細かく分けることで、対象にならない人が出てくるかもしれないということか。

○事務局

あくまで現時点での見直しの方向性としてはその通りである。

○委員

今まで使っていた人の利用が狭まるということについては、障害者の社会参加や利便性が失われることになるため、行うべきではないと考える。

○委員

けやき号については、委託事業であり、3市での共同運用だったと思うが、今回の見直しについては、他市との関係や委託業者のこれまでの運用方法との関係は問題ないのか。

○事務局

ハンディキャブ運行事業については、当市が単独で委託しているものであるため、当市の判断で事業の見直しを行うことが出来るものである。委託業者については、見直しの内容がある程度見えてきたところで、調整を図っていきたいと考えている。

○会長

心身障害者自動車燃料費助成事業・心身障害者タクシー料金助成事業の支給額について、「社会経済情勢の変化に応じて」という文言があるが、社会経済情勢の変化に応じて柔軟に金額を変えていくという運用はできないのか。

○事務局

支給額は要綱で定められている。毎年要綱を改正すればできなくはないが、予算の関係もあり、毎年支給額を変えるというのは難しい。

○会長

毎年でなくてもよいが、障害者の場合、年金などの入ってくるお金は変わらず、出ていくお金だけが増えていくことになる。行動範囲や社会参加の機会が失われるだけという結果にはなってほしくないため、検討していただきたい。

○委員

利用者へのヒアリングや意見聴取等を行っているか。

○事務局

現時点では特に行っていないが、今後見直しを進めるにあたり、利用者のニーズ等を把握することは必要だと考えている。見直し内容と併せて検討する。

○会長

利用者でないとわからないこともある。利用者にヒアリングを行うことは大事なことだと思う。

○委員

精神障害がある方は、タクシーを利用している方が多いように思うが、ハンディキャブの予約はどれくらい埋まっているのか。

○事務局

平日と休日で利用率が異なるが、平日のほうが利用率が高く、8割程度埋まっている状況である。

議題2 計画策定部会からの実施報告
事務局より資料2・3に沿って説明。

○委員

身体障害者については、視覚、聴覚、上肢、下肢等々の種別がある。出てきている結果を見ると、障害種別ごとの特性が考慮されていないように思うが、障害の種別ごとの調査実施件数は適切だったのか、また、回収率が障害によって大きく違うということはなかったのかということについての検証はされるのか。障害種別によって回収率に差があるのではないかと考えている。

○事務局

身体障害者の調査件数については、障害種別ごとの件数の算出は行っておらず、身体障害者手帳を所持している方全体の人数に対して統計上必要な件数を算出して実施している。ただし、身体障害者の調査票には障害種別を記入する項目を設けており、障害種別ごとの傾向等について分析することができるようになっている。

○委員

過去同じようなアンケートを実施していると思うが、それとの比較がないと、あまり分かってくることがないのではないかと思います。過去のアンケートで満足していないとか不便を感じているものについては、計画の中で対策をしてきていると思うが、それがうまく働いて今回よくなっているのか、対策はしたものの効果がなかったのかというようなことを現実的に追っていかねばならないのではないかと。そのあたりの分析はできているのか、それともこれから行うのか。

○会長

見込み量を算出するにあたり、前回とのデータの比較は必要だと思うが、どうなっているのか。

○事務局

今回の調査で新たに追加した設問もあるが、前回調査時の設問は基本的に継続している。経年比較も含めた分析については、これから行う。

○委員

前回の計画を策定した際に、10年間の障害者基本計画も策定している。この10年間の予測とどのようなずれが生じているのか、それにどう対応していくのかということについても検討していただきたい。

○委員

西東京市から支援決定を受けた方が入所している障害者施設へのアンケート調査については、ヒアリングを行った事業者とほぼイコールなのか。また、相談支援事業者には調査を行っているのか。

○事務局

西東京市から支援決定を受けた方が入所している障害者施設へのアンケート調査については、一部市内の施設もあるが、基本的に市外の入所施設に対して実施している。市外の施設については、直接ヒアリングを行うことが難しいため、ヒアリングではなくアンケート調査として実施した。相談支援事業者については、複数事業者にヒアリングを実施している。

○委員

西東京市は障害者の65歳以上の比率が高い。高齢者福祉との関係性を考えるべきではないか。発達障害や知的障害者の調査結果では若年層の割合が高くなっており、検討すべきことを一括で検討されてしまうと、方向を見誤るのではないか。

○事務局

高齢者福祉との関係については、ヒアリングでも介護保険等のサービスへの移行の問題などについて意見をいただいている。今回の量の見込みの計画にどれだけ反映できるかはまだ分からないが、課題としては認識している。

○委員

身体障害者の調査結果では高齢者の比率が高く、その他の区分の調査では児童の割合が高いものがある。こうした年齢層の違いについても、考慮してもらいたい。

○会長

西東京市から支援決定を受けた方が入所している障害者施設へのアンケート調査については、毎回実施しているのか。

○事務局

実施している。

○委員

計画策定部会に関わっており、本日様々な意見を聞くことが出来て大変参考になった。丁寧な計画策定に努めるとともに、計画のための計画ではなく、実行性のある計画にしていきたい。今回アンケートの回収率が上がっていることはよかったと思うが、一方で、声が聞こえづらい人への配慮ということも含めて、策定を進めていきたいと考えている。

○委員

精神障害者保健福祉手帳所持者と自立支援医療を受けている方を分けて調査を実施しているのはなぜか。

○事務局

手帳を所持されている方だけでなく、手帳を取得するまでではないものの、精神的な不調や不安を抱えている方の状況を把握するため、分けて実施している。

○会長

自立支援医療を受けている方については、手帳を所持している方は含まれていないのか。

○事務局

含まれていない。

○委員

自由記述の意見については今取りまとめ中だと思うが、本協議会の委員には報告があるのか。

○事務局

協議会での報告等を行わないが、今年度中に報告書として取りまとめて公表する予定のため、各委員には案内をさせていただく。

○委員

外出をためらうことやゆっくりできる場所がないなどの環境に対しての意見も多く寄せられているのではないかと思います。当事者の方へのサービスももちろん必要だと思うが、例えばお店への支援など、当事者の方が努力して何かを得なくても、周りが変わることで西東京市全体がすごしやすくなるような働きかけも大事だと感じた。

○委員

今回アンケート調査の回収率が上がった工夫などはあるか。また、発達障害者の回収率が低い、発達障害の方は増えている中で、その意見が反映できないのはもったいないと感じる。何か工夫をして、発達障害の方からも意見をもらえるようにできたらよいと思う。

○事務局

回収率が上昇した要因については、今回から新たにWeb回答を導入していることが影響していると考えている。発達障害者への調査については、手帳所持者等と異なり、障害福祉課で一括して情報を把握していないため、一斉に送付することができず、関係機関に相談に来られた方等に個別に協力をお願いをしている。今後、回収率を上げるための方法について検討が必要だと考えている。

議題3 その他

令和7年度地域自立支援協議会交流会の参加報告について、野口委員より参考資料4に沿って説明。

○会長

自立支援協議会については、自治体により様々な部会がある。また、当事者主導で実施しているか、自治体主導で実施しているかという違いもある。形骸化している部会などもあり、部会の見直しがテーマになっていることもある。社会情勢に合わせて切り替えていくことが必要ではないかと思う。武蔵野市では様々なことを行っており、近隣市の交流があってもよいのかもしれない。

○会長

第9期の西東京市自立支援協議会委員の任期は令和8年3月31日までとなっているため、協議会については本日が最後となる。最後に委員の皆様からご挨拶をいただきたい。

【各委員及び健康福祉部長から挨拶】

○会長

本日の協議会はこれで閉会する。

閉会